

会社法特講A

科目ナンバリング CIL-322
選択 2単位

品川 仁美

1. 授業の概要(ねらい)

現代において、会社は社会経済の中心的存在である。会社と聞くと、なにか新聞のむこうの遠い存在のように感じるかもしれないが、実際のところ会社は我々のごく身近にある存在である。たとえば、我々が日々通い詰めているコンビニエンスストアも会社であり、また多くの学生が将来就職する先も会社である。

本講義は、時間の関係で会社法Ⅰ・Ⅱでは扱えない様々な概念や規定について勉強する。会社法特講Ⅰでは、日経新聞等でよく目にするであろうM&Aについて集中的に取り扱う。具体的にはM&Aに関する解説をした上で、関係するニュースを読み、ニュースに関するディスカッションを行う。

応用的な内容も含まれるため、会社法Ⅰ・Ⅱをすでに履修している、もしくは並行して履修していることを前提として話をを行う。

2. 授業の到達目標

- ①M&Aに関する様々な制度について、基本的な知識を得て、説明することができる。
- ②M&Aに関する様々な制度の違いについて、自分の言葉で説明することができる。
- ③授業で扱った重要な判例について、理解し説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

レポート:30%
授業内試験:50%
授業内の貢献度:20%

4. 教科書・参考文献

教科書

伊藤 靖史、大杉 謙一、田中 亘、松井 秀征 『会社法(LEGAL QUEST)』(第4版、2018) 有斐閣

参考文献

岩原紳作、神作裕之、藤田友敬編 『会社法判例百選』(第3版) 有斐閣

5. 準備学習の内容

教科書の該当箇所を読み、授業で扱う内容について簡単に理解しておく。
毎日、日経新聞に目を通し、授業に関係するニュースを探して、意見や質問をまとめてくる。

6. その他履修上の注意事項

会社法Ⅰ・Ⅱを履修済み、もしくは並行して履修していること。
きちんと毎回出席することを重視する。
六法は必ず持参すること。
授業中の私語等、迷惑行為は慎むこと。
授業で配布したレジュメ等は、事後的に配布することはない。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 会社の基礎の変更(定款変更)
- 【第3回】 M&A①買収・結合・再編の意義と方法
- 【第4回】 M&A②株式の取得による買収
- 【第5回】 M&A③キャッシュ・アウト
- 【第6回】 M&A④対象会社の取締役の義務
- 【第7回】 M&A⑤組織再編の意義
- 【第8回】 レポートについての説明と解説
- 【第9回】 M&A⑥組織再編の手続
- 【第10回】 M&A⑦組織再編の無効の訴え
- 【第11回】 M&A⑧事業の譲渡等
- 【第12回】 M&A⑨敵対的買収と防衛策
- 【第13回】 M&A⑩敵対的買収と防衛策
- 【第14回】 M&A⑪敵対的買収と防衛策
- 【第15回】 まとめと授業内試験